

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	河川課長 田中 悟	電話番号	0852-22-5195
----------	-----------	------	--------------

事務事業の名称	水防活動		
目的	(1) 対象	河川流域や海岸沿岸域の居住者及び一般県民	
	(2) 意図	水災害から生命・財産を守る	
事業概要	河川流域や海岸沿岸域の居住者及び一般県民に対して、水災から生命・財産を守るため水防活動を実施する。		

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名	水災死者数	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	人
			取組目標値					
	式・定義	水災死者数	実績値	0.0				
			達成率	-	-	-	-	%
2	指標名		目標値					
			取組目標値					
	式・定義		実績値					
			達成率	-	-	-	-	%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b) (千円)	65,836	71,266
うち一般財源 (千円)	65,641	68,719

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	③改善策を検討中
---------------------	----------

5. 評価時点での現状 (客観的事実・データなどに基づいた現状)

H27年度は水災死者数はゼロであった。

6. 成果があったこと (改善されたこと)

H27年度は水災死者数ゼロを達成することができた。

7. まだ残っている課題 (現状の何をどのように変更する必要があるのか)

- ①困っている「状況」
 ①洪水予報河川及び水位周知河川について、市町村のハザードマップ作成の基礎資料となる洪水浸水想定区域図を、計画規模降雨から想定最大規模降雨に係る洪水浸水想定区域に拡充する必要がある。
 ②水防情報システムについて、水位計や無線設備等の多くが設置から20年近く経過しており、毎年故障が発生している上、製造が中止された部品もあり修繕も困難な状況にあること、また、システム構成が複雑で迅速・確実な情報伝達ができないことなどより、関係防災機関や住民に対し水防情報や防災情報の提供が適切に行えなくなる。
- ②困っている状況が発生している「原因」
 ①水防法の改正。
 ②水防情報システムに係る観測・無線設備等の老朽化及びシステム構成。
- ③原因を解消するための「課題」
 ①洪水浸水想定区域図作成に係る予算の確保。
 ②水防情報システムの観測・無線設備等の更新及びシステム構成の改修に係る予算の確保。

8. 今後の方向性 (課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方)

引き続き、水災から生命・財産を守るための水防活動を実施する。

9. 追加評価 (任意記載)

・課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。
 ・上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。